

< 都市住民等との交流を実施している事例 >

地区の活力を高めて明日の村作り

1. 集落協定の概要

市町村協定名	富山県高岡市 <small>たかおかし</small> 西広谷 <small>にしひろたに</small>			
協定面積 10.1ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻			
交付金額 212万円	個人配分			25%
	共同取組活動 (75%)	農業生産活動費		36%
		水路・農道等維持管理費		28%
		多面的機能増進活動費		11%
協定参加者	農業者 36人、非農業者 6人			

2. 取組に至る経緯

当集落においては、農業者の高齢化、核家族化の進行による若者の農業離れが年々増加の一途をたどっていることから、農家人口の減少が予想されている。今後、10年～15年先を見据えた場合、限界集落化ということも考えざるを得ないようなこともあり、早急な対策が必要ということでは、集落全体の共通認識となっていた。

そこで、今後の農業を継続していくに当り、農業技術、あるいは炭焼きや獅子舞等の集落の伝統文化について親から子、子から孫の枠を超えて集落全体で次の新しい世代に引き継いでいくなど、協働の意識を高めることを目指し、集落協定を締結することとした。

3. 取組の内容

若者を地域に定着させるには、遊び心を取り入れた活動やものづくりを通しての都市農村交流などが有効であることから、炭焼き、獅子舞、郷土料理等の伝統的産業や文化を継承する活動を行っている。この中で、新たな風を呼び込む契機とするため、市広報誌等により情報発信し、広く一般市民の参加を得て炭焼き体験等のイベントを行っている。

また、地元の小学校児童と一緒に炭焼き体験や地元の食材や炭を使っでの食育を重視し、毎回趣向を凝らした料理を作ったり、里山散策などの自然観察、山野草を使っでのリース作り等を行っている。



都市住民との炭焼き体験

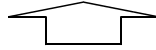


地元小学校とのリース作り

[集落の将来像]

集落全体の総意の下、集落が一体となり、老若男女が活動に参画し、知恵とやる気で集落全体の意気高め、集落が活気づく“ひろたん”を目指し、若者の定着を図る。

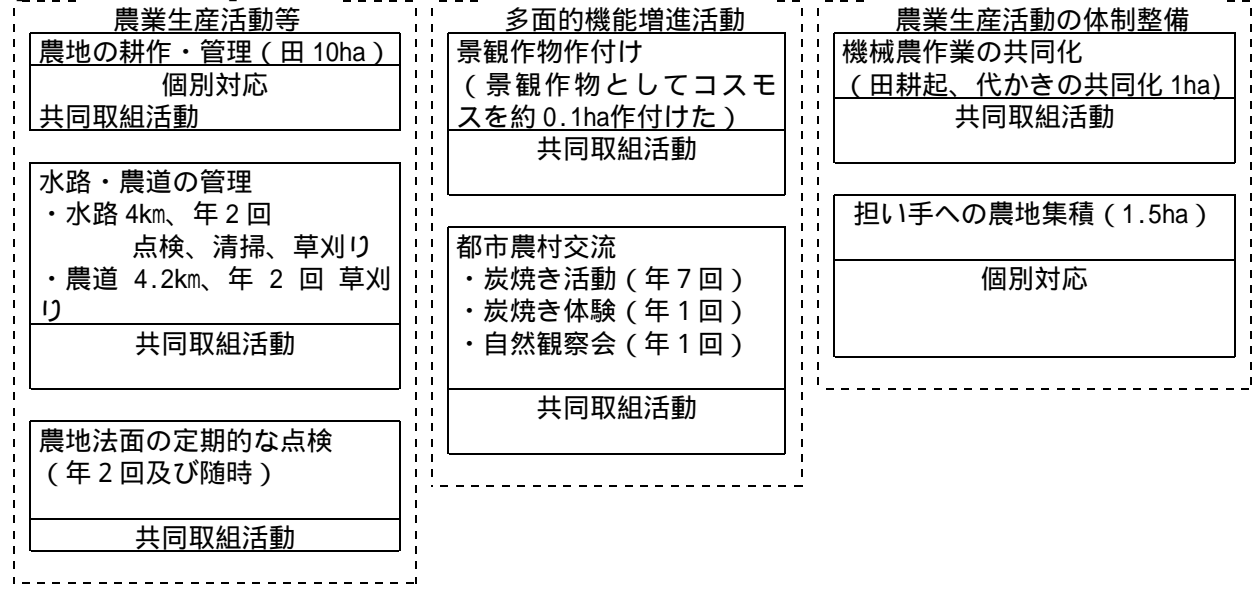
“ひろたん”とは、当西広谷地区の愛称であり、地区住民は自らの地区をこのように呼んでいる。



[将来像を実現するための活動目標]

農業従事者が減少してきているため、集落の再編を目指して農業機械の共同利用の促進、担い手への農地集積、地域の特産品作り、さらには、一般市民や学校等との都市農村交流活動などの実践を通じて地域の活性化を図る。

[活 動 内 容]



4 . 取組による変化と今後の課題等

集落の農業従事者が減少しているにもかかわらず、集落が結束して活動を行うことにより、地域の農業が守られている。また、都市住民との交流を通じ地域の魅力を再発見できたことにより、若い人たちの中にも自分たちの集落は自分たちで守るという意識が育ってきており、共同作業やイベント等への参加者が増えている。

しかしながら、肥料の高騰や米価の下落という農業を取り巻く環境が悪化していく中では、農用地を維持・管理して耕作放棄地の発生防止に努めるのはますます難しくなることが予想されるため、より強い農業生産体制を整備していくことが課題となっている。

[平成 20 年度までの主な成果]

機械農作業の共同化の推進	田耕起、代かきの共同化 (0ha 2.5ha)
担い手への農地集積	0.8ha 2.2ha
学校教育等の連携	自然観察会及び炭焼き体験等の交流
地域間を越えた交流	炭焼き体験
景観作物の作付け	コスモス作付け (0.12ha)